

商店街活性化事業計画の概要

地域

静岡県藤枝市

認定日

平成24年4月13日

事業名：藤枝のお茶を活用した地域高齢者に優しい コミュニティ型宿場町の創造・活性化事業

事業者名： 藤枝宿上伝馬商店街振興組合

事業実施期間 平成24年5月～平成28年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・顧客の大半にあたる高齢者の日常的なニーズに応え、安全・快適な買物環境を提供し、大型店では得られない商店街独自の特徴を生かす事業を実施する。
- ・地域資源としての名産のお茶や竹製品を全面に、そのアピールを通して地域との交流を深め、歴史・文化を感じさせる宿場町の街並みを背景に、緊密なコミュニティの実現に取り組む。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- ・アンケート調査の結果、定期的な「市」によって地元らしさの発見・体感が得られることを望む声が多かった。また期待する設備では、高齢者の目線に立ち気軽に休憩でき、地域の交流が深まる拠点を作ってほしいとの意見が強かった。さらに買物に関する要望では、「入りやすい店頭」「品揃えやサービスの充実」が挙げられ、また「宿場町らしい景観」「夜間の安全・安心のための街路灯設置」を求める声上位を占めた。

◆実施計画の主な内容

- ・定期市事業
各回テーマを決めて毎月開催する。種々の実演や体験教室、音楽イベントを通して、地域住民や職人・学生が参加できる交流の場を目指す。
- ・上传馬茶屋事業
空き店舗を有効活用し、休憩所として藤枝産のお茶の接待、地元の菓子・製茶の販売また多目的スペースの貸出し等、主として高齢者からの要望に対応して実施する。
- ・ファサード整備・照明設備の建設
アーケードを撤去し、宿場町をイメージする木戸門風街路灯の建設と各店舗壁面への格子パネル取付により、統一感ある街並みを作り出し、買物環境の安全性・快適性を図る。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・商店街の通行量を実施計画終了時に、平成23年度と比較して10%増を目指す。
(平成23年度 平日1,460人→平成28年度 1,600人)
- ・商店街全体の店舗に対して、50%の店舗の売上高を実施事業終了時に、平成23年度と比較して3%増を目指す。(平成23年度売上高 60,700万円→平成28年度 62,500万円)

【商店街の様子】



【まとい祭イベントの様子】



【ギャラリー展示の様子】

